

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 元 年 6 月 7 日
-------	----------------

市所管部署	石巻市産業部商工課
-------	-----------

2 法人名称等

法人名称	株式会社街づくりまんぼう
法人所在地	石巻市中瀬2番7号
設立年月日	平成 13 年 2 月 5 日
代表者職・氏名	代表取締役社長 西條允敏

設立目的・経過
「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
- (4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	個人	1,900 千円	3.0 %
			石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員 の 状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	12	12	12
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	13	13	13
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員 の 状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤	20	21	23
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	20	21	23
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力を高め石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。 (事業方針) 1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。 2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。 3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。
---

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度期
石ノ森萬画館 有料入館者数	人	目標 計画	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	83,790	91,178			
目標・指標の説明		かわまちエリアを中心とした諸施設と連携し来街されるお客様の増加に努める。さらにオリジナリティのある展示や各種イベントの開催等によって有料来館へとつなげる。					
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度			
石ノ森萬画館 入館料売上高	千円	目標 計画	60,000	60,000			
		実績	65,201	69,947			
目標・指標の説明		来館者の有料観覧者率を上げ、萬画館観覧料収入の安定化を図る。 また観覧料収入以外の収入の方法を模索する。 ※平成30年度末で目標廃止 廃止理由：「石ノ森萬画館入館料売上高」は「有料入館者数」と連動するため、別会計となる物販売上高を目標として設定した。					
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度期
物販売上高	円	目標 計画			83,000,000	84,000,000	85,000,000
		実績	77,927,676	86,171,564			
目標・指標の説明		石ノ森萬画館入館者増に伴う店頭販売売上額の増加に加え、外部での委託販売、通信販売の強化に努める。また各種イベントでの出張販売も積極的に行う。 ※令和元年度新規					
目標未達の場合の要因分析							

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	数多くのイベントを開催し、あわせてSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし来館への動機づけを行った。また当館でしか観ることができないオリジナルリティのある企画展を開催したことが来館者の増加につながった。	石ノ森萬画館の入館者数は、対前年比で総来館者数108.4%、有料観覧者数108.8%となった。かわまちエリアを中心とした関係機関と連携し、相乗効果を生み出すことができたと感じている。	遠くからでもわざわざ見に来るような話題性のある展示や企画を行った。また数多くのイベントを開催することで集客へつなげた。またSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし、来館していただくためのきっかけづくりを行った。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館への集客を行い、来館者に市街地への周遊を促している。さらに石巻市はもとより関連機関と連携した企画や広報・営業活動を行い、石巻圏域への観光客増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興 推進事業	堤防一体空間の利活用や中心市街地まちづくり計画、各商店街まちづくり支援等、地域の関係機関と一緒に検討実践を重ねてきた。またマンガロードの整備拡充も行った。	かわまちエリアを中心に賑わい創出に貢献できたと捉えている。今後は堤防の完成に伴う堤防一体空間の利活用、市街地の道路のわかりにくさ、駐車場の収容台数不足などへの対応が必要だと感じている。	いしのまき元気いちばのオープン、かわまち立体駐車場の供用開始、橋通りCOMMONのリニューアルオープンなどを契機に、地域が連携して市街地の賑わい創出に貢献できたと考えている。
事業の公共性、 公益性	関連施設や地域住民の方々と連携を図りながら、市街地の復旧復興に向けた事業を行っている。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

## 1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	流動資産	125,079	130,213	5,134	136,309	6,096
うち 現金・預金	73,607	91,201	17,594	82,756	▲ 8,445	
固定資産	16,601	15,899	▲ 702	19,034	3,135	
有形固定資産	4,554	4,897	343	8,532	3,635	
無形固定資産	20	20		20		
投資その他の資産	12,027	10,982	▲ 1,045	10,482	▲ 500	
資産の合計	141,680	146,112	4,432	155,343	9,231	
	貸方（科目）	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
流動負債	25,086	27,989	2,903	34,901	6,912	
うち 一年以内返済長期借入金	2,400	2,400		2,200	▲ 200	
固定負債	4,400	2,200	▲ 2,200		▲ 2,200	
うち 長期借入金	4,400	2,200	▲ 2,200		▲ 2,200	
負債合計	29,486	30,189	703	34,901	4,712	
純資産	112,194	115,923	3,729	120,442	4,519	
うち 資本金	63,000	63,000		63,000		
うち 資本剰余金						
うち 利益剰余金	67,544	71,273	3,729	75,792	4,519	
うち その他	▲ 18,350	▲ 18,350		▲ 18,350		
負債・純資産の部合計	141,680	146,112	4,432	155,343	9,231	

損益計算書（P/L）	科目	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	売上高	263,179	258,981	▲ 4,198	281,373	22,392
売上原価	193,016	185,022	▲ 7,994	203,503	18,481	
売上利益	70,163	73,959	3,796	77,870	3,911	
販売費・一般管理費	67,681	73,831	6,150	73,385	▲ 446	
営業利益	2,482	128	▲ 2,354	4,485	4,357	
営業外収益	607	4,453	3,846	1,917	▲ 2,536	
営業外費用	203	128	▲ 75	82	▲ 46	
経常利益	2,886	4,453	1,567	6,320	1,867	
特別利益	346	948	602	107	▲ 841	
特別損失	158		▲ 158			
税引前当期純利益	3,074	5,401	2,327	6,427	1,026	
法人税等	1,017	1,673	656	1,908	235	
当期純利益	2,057	3,728	1,671	4,519	791	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 10,184	20,614	30,798	2,012	▲ 18,602
税引前当期純利益	3,074	5,402	2,328	6,427	1,025
減価償却費	4,667	2,260	▲ 2,407	4,921	2,661
有形固定資産売却益		▲ 738	▲ 738		738
有形固定資産除却損					
受取利息及び受取配当金	▲ 6	▲ 3	3	▲ 3	
雑収入				▲ 2,022	▲ 2,022
支払利息				83	83
売上債権の増加額（減少額）	10,989	9,359	▲ 1,630	▲ 12,301	▲ 21,660
棚卸資産の増加額（減少額）	▲ 2,160	3,100	5,260	3,058	▲ 42
仕入債務の増加額（減少額）	385	▲ 2,082	▲ 2,467	6,210	8,292
その他流動資産の増加額（減少額）	56		▲ 56	▲ 5,298	▲ 5,298
その他流動負債の増加額（減少額）	▲ 25,928	4,102	30,030	997	▲ 3,105
利息及び配当金の受取額	6	3	▲ 3	3	
雑収入				2,022	2,022
利息の支払額				▲ 83	▲ 83
法人税等の支払額	▲ 1,267	▲ 789	478	▲ 2,002	▲ 1,213
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,618	▲ 820	798	▲ 8,057	▲ 7,237
有形固定資産の取得による支出	▲ 618	▲ 2,603	▲ 1,985	▲ 8,557	▲ 5,954
有形固定資産の減少額		738	738		▲ 738
その他投資	▲ 1,000	1,045	2,045	500	▲ 545
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,400	▲ 2,200	200	▲ 2,400	▲ 200
株式の発行による収入					
資金の借入による収入					
借入金の返済による支出	▲ 2,400	▲ 2,200	200	▲ 2,400	▲ 200
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	▲ 14,202	17,594	31,796	▲ 8,445	▲ 26,039
現金及び現金同等物期首残高	87,809	73,607	▲ 14,202	91,201	17,594
現金及び現金同等物期末残高	73,607	91,201	17,594	82,756	▲ 8,445

キャッシュフロー計算書（C/S）

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）				4,431	4,431
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）				4,431	4,431
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料	55,000	55,000		63,348	8,348
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

# 情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

## 1 貸借対照表に関する補足

### (1) 総括分析

- ・街づくり復興促進補助金他の未収入金10,782千円が計上されている。
- ・加速化事業補助金の金額未決定による費用部分の仮払金が5,348千円計上されている。
- ・税引前当期純利益は6,426千円を計上しているが、上記2点の理由もあり現金及び預金が昨年度末と比べて8,445千円減少した。

また「橋通りCOMMON事業」に係る借入金の返済については、引き続き約定どおり行われている。今期末で全額返済となり資金繰りについても問題は生じていない。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金及び預金	8,445千円の減少	総括分析参照
未収入金	11,235千円の増加	総括分析参照
仮払金	5,348千円の増加	総括分析参照

## 2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

### (1) 総括分析

- ・入場料収入の増加などにより純売上高が22,392千円増加した。

費用面においては、修繕費用として昨年度は橋通りCOMMONテナント火災等修繕が計上されているため、今年度は2,618千円減少した。それに対応する部分として保険金が雑収入で計上されていた。今期はそれらがなかったために雑収入は2,535千円の減少した。

また昨年度はフランス国際漫画祭出店費用等のイベント費用が計上されていたため、今期は2,884千円の減少となった。

上記の原因等により、経常利益が昨年より1,867千円増加した。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
修繕費	2,618千円の減少	総括分析参照
イベント経費	2,884千円の減少	総括分析参照
雑収入	2,535千円の減少	総括分析参照

### 3 キャッシュフロー計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上債権の増加額及びその他流動資産の増加額により「営業活動によるキャッシュフロー」が18,602千円減少した。</li> <li>・有形固定資産の取得による支出により「投資活動によるキャッシュフロー」が7,237千円減少した。</li> <li>・借入金の返済による支出で「財務活動によるキャッシュフロー」が200千円減少した。</li> </ul> <p>以上より平成30年度（自：平成30年4月1日 至：平成31年3月31日）における現金及び現金同等物の減少額は8,445千円となった。</p>
---

#### (2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因

### 4 市による財政・金融支援等に関する補足

#### (1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
石巻市商店街再生加速化支援事業費補助金	4,431,348	マンガを活かした情報発信、マンガを活かした地域魅力創出事業、マンガを活かした街並みづくり

#### (2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
石ノ森萬画館管理業務(指定管理)	55,000,000	石ノ森萬画館の管理運営（指定管理）
石巻市マンガロードモニュメント設置委託業務	2,678,400	仮面ライダーBlackのFRP製等身大モニュメントの制作
石巻市マンガロード周遊促進WEBサイト作成委託業務	4,050,000	石巻マンガロードを中心とした石巻の観光情報等のWEBサイトの作成
石巻市中心市街地活性化基本計画策定支援委託業務	1,620,000	中心市街地活性化基本計画を策定するために必要な情報収集やとりまとめ等

#### (3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

# 市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

## 1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

### （1）中間的な経営目的・事業計画

平成30年度の「石ノ森萬画館有料入館者数」と「入館料売上高」は、目標値及び前年度の実績値を上回っており、良好な経営状況である。

令和元年度より新たな目標として掲げた「物販売上高」においては、会社の将来を見据えた的確な事業計画であり、目標達成に向けて事業展開を進めていただきたい。

今後も様々なイベントや、ホームページ・SNSを活用した情報発信等を実施し、来館者の誘客及び物販売上増加に努めるとともに、地域経済の活性化に寄与する事業展開に期待する。

### （2）主要事業の成果、課題

石ノ森萬画館運営事業では、様々なイベントの開催やSNSでの情報発信等に取り組まれた結果、「石ノ森萬画館有料入館者数」及び「入館料売上高」ともに前年度の実績値を上回った。

街中復興推進事業では、かわまちエリアを中心とした街なかの賑わい創出に努められたと考えられる。今後も同エリアにおいて、堤防一体空間の利活用や道路等の公共交通の整備が進展していくため、事業の進展により新たに生まれてきた課題

（街なかサインの不足等）の解決とともに、同エリア内で生まれた賑わいを中心市街地全体にいかに関与させていくかが今後の街なかの活性化に向けて重要な焦点になるので、さらなる発展・達成に向け引き続き取り組んでいただきたい。

## 2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

### （1）貸借対照表

特になし



(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし

(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

**3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)**

公益的な立場のもと、中心市街地の活性化や賑わい創出、地域産業の活性化、集客力のあるイベントの開催、魅力ある商品開発の推進などの各種事業を実施することにより、TMOとして中心市街地全体のマネジメントを行う役割を期待する。